

# 今

## がんばっています

相川中学校

今年の4月25日から5月10日まで、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校となりました。

生徒が登校できない中、学校に戻ってくる生徒が気持ち良く学校生活が送れるよう、全職員が一丸となって取り組んだ一部を紹介します。

草が生い茂っていたグラウンドを丁寧に整備したり、使用しなくなった高跳び用マットを破棄したり、校舎内の廊下をワックス掛けしたりと、校内美化活動を行いました。

また、道徳授業の中に「Philosophy for children: 子どものための哲学、探求の対話」という対話の活動を取り入れるため、大学教授を招き、研修を行いました。

休校があけてからは、島外から赴任している職員は、帰省を控える状況が続きましたが、卒業生や在校生と一緒に花壇に花の苗を植えたり、佐渡金山まで一緒に走ったりしました。

☎ 学校教育課 58-7351



ランニングする職員と生徒



グラウンドを整備する若手の職員



佐渡を世界遺産に

## 世界遺産登録に向けて

### かみまち 釜山町あいかわ・上町散策⑥

上町を散策すると、相川新五郎町にある鉄格子の門と鉄筋コンクリート造の塀が一目を引きます。この塀の中に、旧相川拘置支所があります。旧相川拘置支所は、昭和29(1954)年に新潟刑務所相川拘置支所として開設され、未決囚(刑事被告人)が収容されました。

建物は平屋建てで「事務所棟」、「居房棟」、「炊事・倉庫棟」に区分けされています。現存する木造の拘置支所としては全国的にも大変珍しく、内外装ともにほぼ当時のまま残されている貴重な建造物です。

### 旧相川拘置支所(その1)



平屋建ての事務所棟



旧相川拘置支所事務所門と塀

明治時代以降の上町周辺には、裁判所(現在の佐渡版画村美術館)や税務署などが建てられ、相川地区が江戸時代から引き続き佐渡の行政・司法の中心地であったことがわかります。

旧相川拘置支所は、昭和47(1972)年に閉所されましたが、平成18(2006)年に国の登録有形文化財となり、平成22(2010)年には屋根などの修理工事が行われ、現在は上町に残る文化財として公開されています。

☎ 世界遺産推進課 63-5136